

果樹研究所

果樹研究所では、カンキツ類、リンゴ、ニホンナシ、モモ、クリ、カキ、ブドウ、ウメ、スモモなどに関する育種、栽培、病虫害に関する研究を幅広く実施しています。



▲ぼろたん
渋皮が容易にむける画期的なニホンナシ

新しい品種を生み出す

多くの遺伝資源を収集・保存し、遺伝子情報を有効に利用し、交雑育種による新品種の育成を行っており、「せとか」など多くの新品種を作り出しています。



▲せとか
高糖度で、皮が薄く剥きやすい
カンキツ



▲もりのかがやき
多汁で甘く芳香のある大きな
黄色リンゴ



▲あきづき
やわらかい食感で味の良い
赤ナシ



▲露茜[つゆあかね]
赤くてきれいな梅酒ができる
大きなウメ



▲太秋
多汁でさくさくとした食感の
大きな甘ガキ



▲シャインマスカット
マスカット香があり、皮ごと
食べられる大粒なブドウ

おいしく健康に役立つ日持ちの良い果物を作る

省力・軽労化生産、鮮度保持技術、地球温暖化の影響緩和、化学肥料削減、健康機能性成分の解明と評価など、果実の生産から消費にわたる研究や技術開発を行っています。



花穂整形器によるブドウ房作りの省力化

健康機能性の疫学研究

リスクの種類	血清β-クリプトキサンチン濃度	
	低レベル	高レベル
インシュリン抵抗性 (糖尿病の要因の1つ)	リスク高い	正常
高血糖・飲酒による肝機能 障害	リスク高い	正常
動脈硬化	リスク高い	正常

ミカンなどに含まれるβ-クリプトキサンチンは
身体を守る働きがある



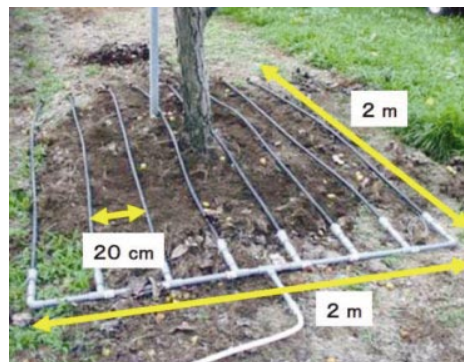
温暖化によるリンゴの着色不良



1-MCP処理果 無処理果
新規鮮度保持剤(1-MCP)処理による
ナシの日持ち性向上(25°Cで2週間)

果樹を外敵から守る

主要病害虫や新規侵入病害虫の分類・診断や生態的特性の解明、拮抗微生物・有用ウイルス・天敵などの生物的機能や温水・フェロモンなどを利用した環境に優しい防除技術の開発を進め、それらを組み合わせた総合的防除によって果樹の安定生産を目指しています。



ナシやリンゴなどの根を腐らせ枯死させる紋羽病の樹を治療する温水処理



ミカンキジラミ
(媒介昆虫)

カンキツの樹勢を著しく低下させ、感染してから数年で樹を枯らすカンキツグリーンング病の分布拡大を阻止する



チャバネアオカメムシ

チャバネアオカメムシの発生を調べるフェロモントラップ

果樹害虫をフェロモントラップでモニターし、発生時期を知ることによって効率的に防除する

果樹技術者の養成

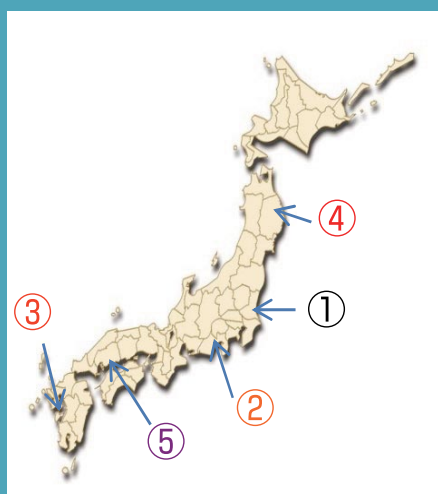
農業技術に関する研修を行っており、果樹の栽培技術などを習得した卒業生は、全国各地の果樹産地において、地域振興と果樹産業の発展に貢献しています。



実習中の研修生(左:モモの収穫・調査、右:ナシの整枝・剪定)

果樹研究所の所在地ならびに研究領域

平成23年4月現在



お問い合わせ
果樹研究所 情報広報課 広報係
TEL 029-838-6447
URL <http://fruit.naro.affrc.go.jp>

所在地	研究領域
① 本 所 〒305-8605 茨城県つくば市藤本2-1 TEL 029-838-6416	・品種育成・病害虫研究領域 ・栽培・流通利用研究領域
② カンキツ研究興津拠点 〒424-0292 静岡県静岡市清水区興津中町485-6 TEL 054-369-7100	・カンキツ研究領域
③ カンキツ研究口之津拠点 〒859-2501 長崎県南高来郡口之津町乙954 TEL 0957-86-2306	
④ リンゴ研究拠点 〒020-0123 岩手県盛岡市下厨川字鍋屋敷92-24 TEL 019-641-3164	・リンゴ研究領域
⑤ ブドウ・カキ研究拠点 〒729-2494 広島県東広島市安芸津町三津301-2 TEL 0846-45-1260	・ブドウ・カキ研究領域